**●実習３-１．　演習準備**

・仮想マシンを起動し、Tera Termでアクセスする。ユーザー名「 クラス名＋出席番号（ie2a99など）」 、

パスワード「 クラス名＋出席番号（ie2a99など）pass 」 でログインする。

＊サーバーのIPアドレスがわからない場合、仮想マシンの端末で**ip a**コマンドで確認する。

シェルプロンプトの確認　　　 　 ie2a99@ie2a99　～ $

カレントディクトリ

サーバーホスト名

ログインユーザー名

**●実習３-２．　演習　コマンド練習**

・ファイル一覧表示時のカレントディレクトリ指定には、相対パス指定を使用する(ls のみで良い)

他の操作は絶対パス指定（/(頂点のルートからの指定)）で行う

**・「**/home/ie2a99」と記載されている部分は全て、ログインユーザーのホームディレクトリに置き換えて行う

　　例：se2a99でログインしている場合は/home/se2a99

**1．　コマンド操作練習** 　（入力コマンド↓　）

　　①カレントディレクトリを確認する　　　　　　　　　　　　　　　　 pwd

②カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**　 　ls

③カレントディレクトリにある**ファイルの詳細な情報を表示する**　 　ls -l

④「/etc/hosts」**ファイルの種類を確認する** 　　　 　file /etc/hosts

⑤「/bin/ls」**ファイルの種類を確認する** file /bin/ls

⑥「/etc/issue」**ファイルの内容を表示する**　　　　　 cat /etc/issue

⑦「/etc/services」**ファイルの内容を1画面ずつ表示する**　　 less /etc/services

「スペース」キーで次ページに移動、「q」キーでless　コマンド終了

⑧「/home/ie2a99」ディレクトリに「peanut.txt」を作成する。 touch peanut.txt

⑨「/home/ie2a99」ディレクトリにある「peanut.txt」を

「/tmp」ディレクトリに同じファイル名で**コピーする**　 cp /home/ie2a99/peanut.txt /tmp

⑩「/home/ie2a99」ディレクトリにある「peanut.txt」を「/tmp」ディレクトリに

「peanut2.txt」というファイル名で**コピーする**　 cp /home/ie2a99/peanut.txt /tmp/peanut2.txt

　　　⑪「/tmp」ディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**

（peanut.txt、peanut2.txtが増えている） ls /tmp

　　　⑫「/home/ie2a99」ディレクトリに「nuts」ディレクトリを作成する mkdir nuts

⑬「/home/ie2a99」ディレクトリにある「nuts」ディレクトリを

「/tmp」ディレクトリに同じディレクトリ名で**コピーする**　 cp -r /home/ie2a99/nuts /tmp

⑭「/home/ie2a99」ディレクトリにある「nuts」ディレクトリを「/tmp」ディレクトリに

「nuts2」というディレクトリ名で**コピーする** cp -r /home/ie2a99/nuts /tmp/nuts2

　　　⑮「/tmp」ディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**

（nuts、nuts2が増えている） 　　　　　　　　 ls /tmp

　　　⑯「/tmp」ディレクトリにある「peanut2.txt」ファイルを

「/home/ie2a99」ディレクトリに**移動する** mv /tmp/peanut2.txt /home/ie2a99

⑰「/tmp」ディレクトリにある「peanut.txt」ファイルを

「/home/ie2a99」ディレクトリに「peanut3.txt」という

ファイル名で**移動する** mv /tmp/peanut.txt /home/ie2a99/peanut3.txt

　　　⑱カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**　 　 ls

（peanut2.txt、peanut3.txtが増えている）

⑲「/tmp」ディレクトリにある「nuts2」ディレクトリを

「/home/ie2a99」ディレクトリに**移動する**　 mv /tmp/nuts2 /home/ie2a99

⑳「/tmp」ディレクトリにある「nuts」ディレクトリを

「/home/ie2a99」ディレクトリに「nut3」という

ディレクトリ名で**移動する** mv /tmp/nuts /home/ie2a99/nuts3

　　　㉑カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**　 　ls

（nut2、nut3が増えている）

　　　㉒カレントディレクトリにある「peanut3.txt」ファイルの名前を

「peanut4.txt」**に変更する** mv peanut3.txt peanut4.txt

　　　㉓カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**　 　ls

（peanut3.txtが消えて、peanut4.txtが増えている）

　 ㉔「/home/ie2a99」ディレクトリにある「peanut4.txt」ファイルを**削除する**

　rm /home/ie2a99/peanut4.txt

㉕「/home/ie2a99」ディレクトリにある「nuts3」ディレクトリを**削除する**

　　　　　　 rm –rf /home/ie2a99/nuts3

　　　㉖カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**　 　ls

（peanut4.txt、nut3が無い）

㉗コマンド入力履歴を確認する　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　history

**●実習３-３. 演習課題**

各自のアカウント名でログインし、コマンドを実行しなさい。

パスの指定がない場合は、相対パス、絶対パスどちらを使用しても構わない

①⑰⑱は、（）内のコマンドを実行し、他は、記載されている内容のコマンドを実行しなさい

記入欄がある場合は、記載されている内容を空欄に記入しなさい。

①コマンド履歴を削除する 　　　　　　　　　 　 (　history 　–c )

②カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示する**

ls

③カレントディレクトリにある**ファイルの詳細な情報を表示する**

Ls -l

④カレントディレクトリ内に、新規でディレクトリ「kad03」を作成する。

Mkdir kad03

⑤カレントディレクトリにある**ファイルの詳細な情報を表示し、**

Ls -l

ディレクトリ「kad03」を確認する

Touch file.txt

⑥カレントディレクトリ内に、新規でファイル「file.txt」を作成する。

⑦⑤と同じコマンドを実行し、ファイル「　file.txt　」を確認する。

Ls -l

⑧⑥で作成したファイル「file.txt」をディレクトリ「kad03」にコピーする

Cp file.txt /kad03

⑨ディレクトリ「kad03」にある**ファイル名を一覧表示し、**

Ls /kad03

ファイル「file.txt」を確認する。

**Cd kad03**

⑩カレントディレクトリをkad03へ移動する

⑪⑧で、kad03ディレクトリにコピーしたファイル「file.txt」の**名前を「file03.txt」に変更する**

**Cp file.txt file3.txt**

⑫カレントディレクトリ(　kad03　)にある**ファイル名を一覧表示し、**「file03.txt」を確認する

ls

⑬カレントディレクトリを親ディレクトリへ移動する**（相対パス指定）**

Cd ..

Ls /home/sk2a03

⑭カレントディレクトリを確認する コマンド　→

**表示結果例（**ログインユーザー名がie2a99　の場合**）　→** /home/ie2a99

**Rm -r file.txt**

⑮ファイル「　file.txt」を削除する

⑯カレントディレクトリにある**ファイル名を一覧表示し、**

ls

「file.txt」が削除されたことを確認する

　表示結果 ↓　　（一部抜粋）

　kad01.txt kad04 nuts2 peanut2.txt テンプレート ドキュメント 公開

kad02 nuts peanut.txt ダウンロード デスクトップ ビデオ ピクチャ

⑰コマンド実行履歴を表示する。　　　　　　　　　　　　　　 (　history 　　 )

⑱ディレクトリ「kad03」にある**ファイル名の一覧を詳細表示する**

Ls -l /kad03

⑲⑱の実行結果をコピーして、の実行結果をコピーして、

クライアント（Windows他）の**クラス名番号**kad03.txtファイルにペーストする。

　 ⑳Tera Termをいったん終了して、本日のログが記録されているか確認する。

　　　　　ファイル名：クラス番号日付.log

**●課題提出**

**作成した2つのファイル（クラス名番号kad03.txt、クラス名番号日付.log）を**

**sv23の指定された場所へ課題を提出しなさい。**